

(6) 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数）を表しています。
- クロス集計表では、無回答を除外しているため、合計と一致しない場合があります。
- 本調査では、父母の有無や就労状況から家庭類型を行っており、以下のとおり、8タイプに区分されます。なお、家庭類型は「現在」と、今後の就労意向を踏まえた「潜在」があります。

タイプ	父母の有無と就労状況	本市の家庭類型「現在」構成比
タイプA	ひとり親家庭	2.7%
タイプB	フルタイム×フルタイム	38.7%
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上＋下限時間～120時間未満の一部)	12.8%
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120時間未満の一部)	7.9%
タイプD	専業主婦（夫）	37.7%
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月120時間以上＋下限時間～120時間未満の一部)	0.2%
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120時間未満の一部)	0.0%
タイプF	無業×無業	0.0%

※下限時間：本市では64時間で設定しています。

※本市の家庭類型「現在」の構成比は、家庭類型を行う上で必要な設問に対して回答があった人を母数（1,965人）として算出しています。

父親	母親		3. パートタイム就労 4. 育児・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
	1. フルタイム 2. 育児・介護休業中		120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	
1. フルタイム 2. 育児・介護休業中	タイプB	タイプC	タイプC'			
3. パートタイム就労 4. 育児・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプD		
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'	タイプE'			
	下限時間未満					
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない			タイプD			タイプF

